

「詳解歴史総合」年間指導計画に基づく評価規準例 ※◎は評定に用いる評価（・は学習改善につなげる評価）

単元番号	単元名	実施月	単元 の 時数	評 価 規 準			学習のねらい
				知識・技能 (評価の方法)	思考・判断・表現 (評価の方法)	主体的に学習に取り組む態度 (評価の方法)	
				定期テスト	定期テスト(論述問題など) レポート課題 討論・発表 学習の振り返り	レポート課題 討論・発表 学習の振り返り	
序章1節	歴史の扉 「歴史と私たち」 世界とつながる旅行の歴史 ～身近なものから歴史を考えてみよう～	4月	2	・私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に、それが日本や日本周辺の地域および世界の歴史とつながっていることを理解する。	・近代化、国際秩序の変化や大衆化、グローバル化などの歴史の変化と関わらせて、私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象と日本や日本周辺の地域および世界の歴史との関連性について考察し、表現する。	・科目全体の学習の見通しを立て、課題を追究しようとしている。	○諸資料を活用し、私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象が、日本や日本周辺の地域および世界の歴史とつながっていることを理解する。
序章2節	「歴史の特質と資料」	4月	2	・資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解する。	・複数の資料の関係や異同に着目して、資料から読み取った情報の意味や意義、特色などを考察し、表現する。		○日本や世界のさまざまな地域の人々の歴史的な営みの痕跡や記録である遺物、文書、画像などの資料を活用し、資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解する。
第1章1節	近代化と私たち 「近代化への問い」	4月	2	・近代化に伴う生活や社会の変容について、諸資料から、情報を適切に読み取ったり、まとめたりしている。	・近代化に伴う生活や社会の変容について考察し、問いを表現している。	・近代化に伴う生活や社会の変容について、学習の見通しを立て、課題を追究しようとしている。	○交通と貿易、産業と人口、権利意識と政治参加や国民の義務、学校教育、労働と家族、移民などに関する資料から情報を読み取ったりまとめたりし、近代化に伴う生活や社会の変容について考察し、問いを表現する。
第1章2節	「結びつく世界と日本の開国」	5月	7	①18世紀のアジアや日本における生産と流通、アジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易などを基に、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめ、18世紀のアジアの経済と社会を理解している。 ②産業革命と交通・通信手段の革新、中国の開港と日本の開国などを基に、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめ、工業化と世界市場の形成を理解している。	①18世紀のアジア諸国の経済が欧米諸国に与えた影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、18世紀のアジア諸国における経済活動の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ②産業革命の影響、中国の開港と日本の開国の背景とその影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、アジア諸国と欧米諸国との関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。	・近代化の歴史に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとし、中学校までの学習も振り返りながら課題を追究しようとしている。	①18世紀のアジア諸国の経済が欧米諸国に与えた影響などに着目して、18世紀のアジア諸国における経済活動の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、18世紀のアジアの経済と社会を理解する。 ②産業革命の影響、中国の開港と日本の開国の背景とその影響などに着目して、アジア諸国と欧米諸国との関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、工業化と世界市場の形成を理解する。
1	18世紀の東アジア	5月	1	・18世紀の東アジア諸国の諸相について、諸資料から読み取り、理解している。	・18世紀のアジア諸地域が、どのような経済関係を形成していたのかについて、多面的・多角的に考察し、ワークシート等に表現している。	・18世紀のアジア経済と社会について、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○18世紀の東アジア諸国がどのような関係を築き、どのような経済発展を遂げたのかについて理解する。
2	結びつくアジア諸地域		1	・18世紀のアジアの諸地域の諸相について、諸資料から読み取り、理解している。	・18世紀のアジア諸地域が、どのような経済関係を形成していたのかについて、多面的・多角的に考察し、ワークシート等に表現している。		○18世紀のアジア諸地域は、どのような経済関係を形成していたのかについて理解する。
3	18世紀のヨーロッパとアジア		1	・18世紀のヨーロッパとアジアの経済関係を、諸資料から読み取り、理解している。 ◎18世紀のアジアの経済と社会について、概念的に理解している。	・18世紀のヨーロッパとアジアの経済関係の特徴について、多面的・多角的に考察し、ワークシート等に表現している。 ◎18世紀のアジア諸国の経済が欧米諸国に与えた影響などに着目して、18世紀のアジア諸国における経済活動の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などについて考察し、結果を表現している。	・18世紀のアジア経済と社会について振り返り、自らの学習を調整しようとしている。	○18世紀のヨーロッパとアジアが、どのような経済関係を形成したのかについて理解する。
4	産業革命のはじまり		1	・産業革命が起こった過程とそれがもたらした変化について、諸資料から読み取り、理解している。	・世界で初めてイギリスで産業革命が起こった背景と、それがもたらした変化との関連性について、多面的・多角的に考察し、ワークシート等に表現している。	・工業化と世界市場の形成について、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○イギリスで起こった産業革命の内容と、その後の変化について理解する。
5	世界市場の形成		1	・産業革命を経て形成された世界経済体制について、諸資料から読み取り、理解している。	・「世界の工場」および「世界の銀行」と呼ばれたイギリスが、世界にどのような影響を及ぼし、諸地域がどのように変容していったのかについて、多面的・多角的に考察し、ワークシート等に表現している。		○イギリスを中心とする世界市場が形成された過程と、世界の諸地域の変容について理解する。
6	東アジアの国際秩序の変化と日本の開国		1	・東アジアが、西洋諸国との接触によりどのように変わったのかについて、諸資料から読み取り、理解している。	・東アジアの変化が、何を原因として変化したのかについて、多面的・多角的に考察し、ワークシート等に表現している。		○19世紀の東アジアが、どのような変化をとげたのかについて理解する。
7	世界経済の変化と日本の産業革命		1	・世界各地で産業革命が起こり、それぞれの国や地域がどのようなつながりを持ったのかについて、諸資料から読み取り、理解している。 ◎工業化と世界市場の形成について、概念的に理解している。	・産業革命の広がりが、それぞれの国や地域にどのような変化をもたらしたのかについて、多面的・多角的に考察し、ワークシート等に表現している。 ◎産業革命の影響、中国の開港と日本の開国の背景とその影響などに着目して、アジア諸国と欧米諸国との関係の変容などについて考察し、結果を表現している。	・工業化と世界市場の形成について振り返り、自らの学習を調整しようとしている。	○産業革命の拡大が、世界や日本にどのような変化をもたらしたのかについて理解する。

単元番号	単元名	実施月	単元の 時数	評価規準			学習のねらい
				知識・技能 (評価の方法)	思考・判断・表現 (評価の方法)	主体的に学習に取り組む態度 (評価の方法)	
				定期テスト	定期テスト(論述問題など) レポート課題 討論・発表 学習の振り返り	レポート課題 討論・発表 学習の振り返り	
第1章3節	「国民国家と明治維新」	6月～7月	10	①18世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向、日本の明治維新や大日本帝国憲法の制定などを基に、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめ、立憲体制と国民国家の形成を理解している。 ②列強の進出と植民地の形成、日清・日露戦争などを基に、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめ、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解している。	①国民国家の形成の背景や影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、政治変革の特徴、国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ②帝国主義政策の背景、帝国主義政策がアジア・アフリカに与えた影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、帝国主義政策の特徴、列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。	・近代化の歴史に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追究しようとしている。	①国民国家の形成の背景や影響などに着目して、政治変革の特徴、国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、立憲体制と国民国家の形成を理解する。 ②帝国主義政策の背景、帝国主義政策がアジア・アフリカに与えた影響などに着目して、帝国主義政策の特徴、列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解する。
1	市民革命と近代社会	6月	1	・市民革命と、その後生み出された社会の仕組みについて、諸資料から読み取り、理解している。	・アメリカ独立革命やフランス革命が、世界にどのような影響を与えたのかについて、多面的・多角的に考察し、ワークシート等に表現している。	・立憲体制と国民国家の形成について、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○市民革命はどのような社会の仕組みを生み出したのかについて理解する。
2	自由主義とナショナリズム		1	・19世紀の欧米で盛んになった自由主義とナショナリズムについて、諸資料から読み取り、理解している。	・19世紀の欧米諸国では、どのような背景のもとにどのような国家形態が目指されたのかについて、多面的・多角的に考察し、ワークシート等に表現している。		○19世紀の欧米諸国では、どのような国家形態が模索されたのかについて理解する。
3	アジアの諸国家とその変容		1	・19世紀のアジアのそれぞれの地域で起こった政治的变化について、諸資料から読み取り、理解している。	・19世紀のアジア諸地域でどのような背景のもとにどのような政治的变化が起こったのかについて、多面的・多角的に考察し、ワークシート等に表現している。		○19世紀のアジア諸地域では、どのような背景のもとにどのような政治的变化が生じたのかについて理解する。
4	明治維新と東アジアの国際関係		1	・明治日本の諸改革の内容とその当時の国際関係について、諸資料から読み取り、理解している。	・日本の明治維新と当時の国際環境はどのような関係にあったのかについて、多面的・多角的に考察し、ワークシート等に表現している。		○明治維新は、どのような国際環境の中で起こり、日本社会をどのように変えたのかについて理解する。
5	立憲制の広まり		1	・19世紀後半のそれぞれの国の立憲制の特徴について、諸資料から読み取り、理解している。 ◎立憲体制と国民国家の形成について、概念的に理解している。	・19世紀後半のそれぞれの国の立憲制の類似点や相違点について、多面的・多角的に考察し、ワークシート等に表現している。 ◎国民国家の形成の背景や影響などに着目して、政治変革の特徴、国民国家の特徴や社会の変容などについて考察し、結果を表現している。	・立憲制と国民国家の形成について振り返り、自らの学習を調整しようとしている。	○19世紀後半の立憲制国家は、それぞれどのような特徴を持っていたのかについて理解する。
6	帝国主義と植民地		1	・帝国主義諸国による植民地獲得競争により、世界がどのように変容していったのかについて、諸資料から読み取り、理解している。	・19世紀末以降、なぜ帝国主義が世界を席卷したのかについて、多面的・多角的に考察し、ワークシート等に表現している。	・列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容について、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○帝国主義とは何かを理解する。また、帝国主義国の植民地獲得競争がどのように繰り返されたのかについて理解する。
7	日清戦争と華夷秩序の解体		1	・日清戦争とその後の東アジア情勢の経過について、諸資料から読み取り、理解している。	・日清戦争がなぜ起こり、どのような影響を東アジアに与えたのかについて、多面的・多角的に考察し、ワークシート等に表現している。		○日清戦争は東アジアの国際秩序にどのような影響を与えたのかについて理解する。
8	帝国主義諸国の競合と国際関係		1	・帝国主義国どうしの関係と日露戦争の経過について、諸資料から読み取り、理解している。	・帝国主義国どうしがどのような関係性を築き、それが日露戦争とどのようにつながっているのかについて、多面的・多角的に考察し、ワークシート等に表現している。		○帝国主義国どうしがどのような関係を築いたのかについて理解する。
9	植民地支配と植民地の近代	7月	1	・帝国主義国による植民地支配の諸相について、諸資料から読み取り、理解している。	・帝国主義国による植民地支配が、現地の近代化に与えた影響などについて、多面的・多角的に考察し、ワークシート等に表現している。		○植民地の人々がどのような支配を受けていたのかについて理解する。
10	20世紀はじめの世界		1	・帝国主義に対する、帝国主義国内の人々やアジア諸国の反応について、諸資料から読み取り、理解している。 ◎列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容について、概念的に理解している。	・帝国主義に対してどのような反応が起こり、どのような動きにつながっていたのかについて、多面的・多角的に考察し、ワークシート等に記入している。 ◎帝国主義政策の背景、帝国主義政策がアジア・アフリカに与えた影響などに着目して、帝国主義政策の特徴、列強間の関係の変容などについて考察し、結果を表現している。	・列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容について振り返り、自らの学習を調整しようとしている。	○20世紀初期、帝国主義に対して人々はどのような態度を示し、アジア諸国はどのような動きを見せたのかについて理解する。
第1章4節	「近代化と現代的な諸課題」	7月	2	◎現代的な諸課題の形成に関わる近代化の歴史について理解し、説明している。	◎近代化に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響などに着目して、主題について、現代的な諸課題に関連付けて、多面的・多角的に考察し、その結果を表現している。	◎「近代化と私たち」における自身の学習の経緯について、自身の関わりを踏まえて振り返るとともに、次の学習へのつながりを見いだそうとしている。	○自由・制限、平等・格差、開発・保全、統合・分化、対立・協調などの観点を基に主題を設定し、事象の背景や原因、結果や影響などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現することを通して、現代的な諸課題の形成に関わる近代化の歴史を理解する。
第2章1節	国際秩序の変化や大衆化と私たち 「国際秩序の変化や大衆化への問い」	7月	2	・国際秩序の変化や大衆化に伴う生活や社会の変容について、諸資料から、情報を適切に読み取ったり、まとめたりしている。	・国際秩序の変化や大衆化に伴う生活や社会の変容について考察し、問いを表現している。	・国際秩序の変化や大衆化に伴う生活や社会の変容について、学習の見通しを立て、課題を追究しようとしている。	○国際関係の緊密化、アメリカ合衆国とソヴィエト連邦の台頭、植民地の独立、大衆の政治的・経済的・社会的地位の変化、生活様式の変化などに関する資料を活用

単元番号	単元名	実施月	単元の 時数	評価規準			学習のねらい
				知識・技能 (評価の方法)	思考・判断・表現 (評価の方法)	主体的に学習に取り組む態度 (評価の方法)	
				定期テスト	定期テスト(論述問題など) レポート課題 討論・発表 学習の振り返り	レポート課題 討論・発表 学習の振り返り	
							し、国際秩序の変化や大衆化に伴う生活や社会の変容について考察し、問いを表現する。
第2章2節	「第一次世界大戦と大衆社会」	9月～10月	9	①第一次世界大戦の展開、日本やアジアの経済成長、ソヴィエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭、ナショナリズムの動向と国際連盟の成立などを基に、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめ、総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解している。 ②大衆の政治参加と女性の地位向上、大正デモクラシーと政党政治、大量消費社会と大衆文化、教育の普及とマスメディアの発達などを基に、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめ、大衆社会の形成と社会運動の広がり理解している。	①第一次世界大戦の推移と第一次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、日本の参戦の背景と影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、第一次世界大戦の性格と惨禍、日本とアジアおよび太平洋地域の関係や国際協調体制の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ②第一次世界大戦前後の社会の変化などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、第一次世界大戦後の社会の変容と社会運動との関連などを多面的・多角的に考察し、表現している。	・国際秩序の変化や大衆化の歴史に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追究しようとしている。	①第一次世界大戦の推移と第一次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、日本の参戦の背景と影響などに着目して、第一次世界大戦の性格と惨禍、日本とアジアおよび太平洋地域の関係や国際協調体制の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解する。 ②第一次世界大戦前後の社会の変化などに着目して、第一次世界大戦後の社会の変容と社会運動との関連などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、大衆社会の形成と社会運動の広がり理解する。
	1 大衆社会の時代	9月	1	・大衆化の意味と、大衆化による人々の生活の変化について、諸資料から読み取り、理解している。	・大衆化によって、人々の生活がどのように変化していったのかについて、多面的・多角的に考察し、ワークシート等に表現している。	・総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制について、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○大衆化とは何か、また、大衆化によって人々の生活がどのように変化したのかを理解する。
	2 第一次世界大戦の展開		1	・第一次世界大戦の背景や展開、戦争の意義について、諸資料から読み取り、理解している。	・第一次世界大戦において出現した総力戦体制とはどのようなものだったのかについて、多面的・多角的に考察し、ワークシート等に表現している。		○第一次世界大戦はどのように展開したのかについて理解する。
	3 国際協調体制の形成		1	・ヴェルサイユ体制とワシントン体制について、諸資料から読み取り、理解している。	・ヴェルサイユ体制やワシントン体制が、何を指し、どのような意味を持ったのかについて、多面的・多角的に考察し、ワークシート等に表現している。		○第一次世界大戦後の国際協調体制について理解する。
	4 ソヴィエト連邦の成立と社会主義		1	・ロシア革命とソヴィエト連邦の成立、および社会主義が世界に与えた影響について、諸資料から読み取り、理解している。	・なぜソヴィエト連邦が成立し、社会主義運動が世界に拡大していったのかについて、多面的・多角的に考察し、ワークシート等に表現している。		○ソヴィエト連邦の成立と、社会主義運動の拡大過程について理解する。
	5 アメリカ合衆国の台頭と大量消費社会		1	・アメリカ合衆国が国際政治・経済を主導する大国として台頭したことや、大衆文化が各地に広がったことについて、諸資料から読み取り、理解している。	・なぜアメリカ合衆国が台頭し、大衆文化が広がっていったのかについて、多面的・多角的に考察し、ワークシート等に表現している。		○アメリカ合衆国の台頭と大衆文化の広がりについて理解する。
	6 アジアの経済成長と移動する人々		1	・第一次世界大戦後のアジア諸地域の経済発展と人々の移動の様子について、諸資料から読み取り、理解している。 ◎総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制について、概念的に理解している。	・なぜ第一次世界大戦後にアジア諸地域が経済的に発展したのかについて、多面的・多角的に考察し、ワークシート等に表現している。 ◎第一次世界大戦の推移と第一次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、日本の参戦の背景と影響などに着目して、第一次世界大戦の性格と惨禍、日本とアジアおよび太平洋地域の関係や国際協調体制の特徴などについて考察し、結果を表現している。	・総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制について振り返り、自らの学習を調整しようとしている。	○アジアの経済成長とそれぞれの地域の結び付きについて理解する。
	7 反植民地主義の高揚と国際秩序の変容	10月	1	・第一次世界大戦後にアジア諸地域で起こった民族運動や日中の関係について、諸資料から読み取り、理解している。	・なぜ第一次世界大戦後にアジア諸地域で民族運動が高揚したのか、また、なぜ日中で対立が起こったのかについて、多面的・多角的に考察し、ワークシート等に表現している。	・大衆社会の形成と社会運動の広がりについて、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○反植民地主義の高揚と国際秩序の変容について理解する。
	8 民主主義の拡大と社会変革の動き		1	・民主主義が世界に広がり、日本で大正デモクラシーと呼ばれる風潮を引き起こしたことについて、諸資料から読み取り、理解している。	・なぜ第一次世界大戦後に民主主義が世界に広がり、日本にも波及したのかについて、多面的・多角的に考察し、ワークシート等に表現している。		○世界における民主主義の進展と、日本での展開について理解する。
	9 マスメディアの発達と日常生活		1	・マスメディアが発達した背景や、それに伴う社会の変化について、諸資料から読み取り、理解している。 ◎大衆社会の形成と社会運動の広がりについて、概念的に理解している。	・なぜマスメディアが発達したのか、また、人々の生活がどのように変化したのかについて、多面的・多角的に考察し、ワークシート等に表現している。 ◎第一次世界大戦前後の社会の変化などに着目して、第一次世界大戦後の社会の変容と社会運動との関連などについて考察し、結果を表現している。	・大衆社会の形成と社会運動の広がりについて振り返り、自らの学習を調整しようとしている。	○マスメディアの発達と人々の日常生活の変化について理解する。
第2章3節	「経済危機と第二次世界大戦」	10月～11月	10	①世界恐慌、ファシズムの伸長、日本の対外政策などを基に、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめ、国際協調体制の動揺を理解している。 ②第二次世界大戦の展開、国際連合と国際経済体制、冷戦の始まりとアジア諸国の動向、戦後改革と日本国憲法の制定、平和条約と日本の独立の回復などを基に、諸資料から歴史に関するさ	①経済危機の背景と影響、国際秩序や政治体制の変化などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、各国の世界恐慌への対応の特徴、国際協調体制の動揺の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ②第二次世界大戦の推移と第二次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、第二次世界大戦後の国	・国際秩序の変化や大衆化の歴史に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追究しようとしている。	①経済危機の背景と影響、国際秩序や政治体制の変化などに着目して、各国の世界恐慌への対応の特徴、国際協調体制の動揺の要因などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、国際協調体制の動揺を理解する。 ②第二次世界大戦の推移と第二次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、第二次世界大戦後の国際秩序の形成が社会に及ぼした影響などに着目して、第二次世界大戦の性

単元番号	単元名	実施月	単元 の 時数	評価規準			学習のねらい
				知識・技能 (評価の方法)	思考・判断・表現 (評価の方法)	主体的に学習に取り組む態度 (評価の方法)	
				定期テスト	定期テスト(論述問題など) レポート課題 討論・発表 学習の振り返り	レポート課題 討論・発表 学習の振り返り	
				さまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめ、第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解している。	国際秩序の形成が社会に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、第二次世界大戦の性格と惨禍、第二次世界大戦下の社会状況や人々の生活、日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを多面的・多角的に考察し、表現している。		格と惨禍、第二次世界大戦下の社会状況や人々の生活、日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解する。
1	世界恐慌	10月	1	・世界恐慌が発生した過程と、それに対するそれぞれの国の対応の相違について、諸資料から読み取り、理解している。	・なぜ世界恐慌が発生したのか、それに対して各国がどのような状況に陥り、どのように対応したのかについて、多面的・多角的に考察し、ワークシート等に表現している。	・国際協調体制の動揺について、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○世界恐慌が発生した原因とそれに対する各国の対応について理解する。
2	アジア・アフリカと大衆社会		1	・国際協調体制の動揺の中でアジア・アフリカ諸国に起こった、自立の動きや大衆運動について、諸資料から読み取り、理解している。	・なぜアジア・アフリカ諸国で自立化の動きが高まり、大衆運動が盛んになったのかについて、多面的・多角的に考察し、ワークシート等に表現している。		○動揺しつつある国際協調体制下での、アジア・アフリカ諸国の人々の対応について理解する。
3	国際協調体制の崩壊		1	・ファシズムの伸長により、国際協調体制が崩壊していく過程について、諸資料から読み取り、理解している。	・なぜファシズムが伸長し、国際協調体制が崩壊に向かっていったのかについて、多面的・多角的に考察し、ワークシート等に表現している。		○第一次世界大戦後の国際協調体制の崩壊について理解する。
4	日中戦争と深刻化する世界の危機		1	・日中戦争の展開とヨーロッパでのファシズムの膨張の関連性について、諸資料から読み取り、理解している。 ◎国際協調体制の動揺について、概念的に理解している。	・なぜアジアで日中戦争が始まり、ヨーロッパでファシズムが膨張していったのかについて、多面的・多角的に考察し、ワークシート等に表現している。 ◎経済危機の背景と影響、国際秩序や政治体制の変化などに着目して、各国の世界恐慌への対応の特徴、国際協調体制の動揺の要因などについて考察し、結果を表現している。	・国際協調体制の動揺について振り返り、自らの学習を調整しようとしている。	○日中戦争やファシズムの膨張による世界の危機について理解する。
5	第二次世界大戦の勃発		1	・第二次世界大戦と日中戦争、およびアジア太平洋戦争との関連性について、諸資料から読み取り、理解している。	・なぜ第二次世界大戦が始まり、拡大したのか、また、それが日中戦争やアジア太平洋戦争とどのように結び付いたのかについて、多面的・多角的に考察し、ワークシート等に表現している。	・第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰について、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○第二次世界大戦の勃発とその拡大、および日中戦争との結びつきについて理解する。
6	第二次世界大戦における連合国と戦後構想	11月	1	・第二次世界大戦終結時のイタリアとドイツの動きと、新しい国際秩序に向けた連合国の動きについて、諸資料から読み取り、理解している。	・どのような戦況の中でイタリアとドイツが降伏したのか、また、連合国がどのような戦後秩序を目指したのかについて、多面的・多角的に考察し、ワークシート等に表現している。		○第二次世界大戦の終結と戦後の国際秩序の形成について理解する。
7	アジア太平洋戦争と日本の敗戦		1	・アジア太平洋戦争の展開と人々の生活、日本の敗戦への過程について、諸資料から読み取り、理解している。	・アジアでどのように戦線が拡大し、人々がどのような生活を強いられたのか、また、なぜ日本が無条件降伏を受け入れたのかについて、多面的・多角的に考察し、ワークシート等に表現している。		○アジア太平洋戦争の展開と、日本の敗戦について理解する。
8	連合国の占領政策と日本の戦後改革		1	・連合国による占領政策の各国の相違と日本のさまざまな戦後改革について、諸資料から読み取り、理解している。	・連合国による占領政策は、どのような違いがあり、それはどのような背景によるものなのか、また、日本の戦後政策がどのような目的のもとに行われたのかについて、多面的・多角的に考察し、ワークシート等に表現している。		○連合国による枢軸国の占領政策と日本の戦後改革について理解する。
9	冷戦のはじまりと東アジアにおける展開		1	・冷戦の展開と東アジアの関係、日本が主権を回復する過程について、諸資料から読み取り、理解している。	・冷戦がどのようにして始まり展開していったのか、またそれが東アジアは日本の主権回復にどのような影響を与えたのかについて、多面的・多角的に考察し、ワークシート等に表現している。		○冷戦の展開と日本の主権回復について理解する。
10	再編されるアジア		1	・冷戦下のアジア諸地域でどのような動きが起こり、世界にどのような影響を与えたのかについて、諸資料から読み取り、理解している。 ◎第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰について、概念的に理解している。	・なぜアジア諸地域でナショナリズムや民族独立の動きが起こったのかについて、多面的・多角的に考察し、ワークシート等に表現している。 ◎第二次世界大戦の推移と第二次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、第二次世界大戦後の国際秩序の形成が社会に及ぼした影響などに着目して、第二次世界大戦の性格と惨禍、第二次世界大戦下の社会状況や人々の生活、日本に対する占領政策と国際情勢との関係などについて考察し、結果を表現している。	・第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰について振り返り、自らの学習を調整しようとしている。	○冷戦下に再編されたアジア諸地域の動きについて理解する。
第2章4節	「国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題」	11月	2	◎現代的な諸課題の形成に関わる国際秩序の変化や大衆化の歴史について理解し、説明している。	◎国際秩序の変化や大衆化に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響などに着目して、主題について、現代的な諸課題に関連付けて、多面的・多角的に考察し、その結果を表現している。	◎「国際秩序の変化や大衆化と私たち」における自身の学習の経緯について、自身の関わりを踏まえて振り返るとともに、次の学習へのつながりを見いだそうとしている。	○自由・制限、平等・格差、開発・保全、統合・分化、対立・協調などの観点を基に主題を設定し、事象の背景や原因、結果や影響などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現することを通して、現代的な諸課題の形成に関わる国際

単元番号	単元名	実施月	単元の 時数	評価規準			学習のねらい
				知識・技能 (評価の方法)	思考・判断・表現 (評価の方法)	主体的に学習に取り組む態度 (評価の方法)	
				定期テスト	定期テスト(論述問題など) レポート課題 討論・発表 学習の振り返り	レポート課題 討論・発表 学習の振り返り	
							秩序の変化や大衆化の歴史を理解する。
第3章1節	グローバル化と私たち 「グローバル化への問い」	12月	2	・グローバル化に伴う生活や社会の変容について、諸資料から、情報を適切に読み取ったり、まとめたりしている。	・グローバル化に伴う生活や社会の変容について考察し、問いを表現している。	・グローバル化に伴う生活や社会の変容について、学習の見通しを立て、課題を追究しようとしている。	○冷戦と国際関係、人と資本の移動、高度情報通信、食料と人口、資源・エネルギーと地球環境、感染症、多様な人々の共存などに関する資料を活用し、グローバル化に伴う生活や社会の変容について考察し、問いを表現する。
第3章2節	「冷戦と世界経済」	12月～1月	8	①脱植民地化とアジア・アフリカ諸国、冷戦下の地域紛争、先進国の政治の動向、軍備拡張や核兵器の管理などを基に、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめ、国際政治の変容を理解している。 ②西ヨーロッパや東南アジアの地域連携、計画経済とその波及、日本の高度経済成長などを基に、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめ、世界経済の拡大と経済成長下の日本の社会を理解している。	①地域紛争の背景や影響、冷戦が各国の政治に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、地域紛争と冷戦の関係、第三世界の国々の経済政策の特徴、欧米やソヴィエト連邦の政策転換の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ②冷戦が各国経済に及ぼした影響、地域連携の背景と影響、日本の高度経済成長の背景と影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、冷戦下の世界経済や地域連携の特徴、経済成長による生活や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。	・グローバル化の歴史に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追究しようとしている。	①地域紛争の背景や影響、冷戦が各国の政治に及ぼした影響などに着目して、地域紛争と冷戦の関係、第三世界の国々の経済政策の特徴、欧米やソヴィエト連邦の政策転換などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、国際政治の変容を理解する。 ②冷戦が各国経済に及ぼした影響、地域連携の背景と影響、日本の高度経済成長の背景と影響などに着目して、冷戦下の世界経済や地域連携の特徴、経済成長による生活や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、世界経済の拡大と経済成長下の日本の社会を理解する。
	1 冷戦の拡大と第三勢力	12月	1	・冷戦構造が世界的に拡大する一方で共存の道を歩む様子や、その中で第三勢力が台頭してくる過程について、諸資料から読み取り、理解している。	・なぜ冷戦が拡大しながらも共存していくのか、また、そのような国際情勢下になぜ第三勢力が台頭してくるのかについて、多面的・多角的に考察し、ワークシート等に表現している。	・国際政治の変容について、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○冷戦の拡大と第三勢力の台頭について理解する。
	2 キューバ危機と核兵器の管理		1	・米ソ両国の核開発競争と宇宙開発競争に関する具体的事象と、キューバ危機以降の核兵器管理体制への転換の過程について、諸資料から読み取り、理解している。	・なぜ米ソは、熾烈な核開発競争と宇宙開発競争を続けたのか、また、なぜ核保有国が核兵器の管理に同意したのかについて、多面的・多角的に考察し、ワークシート等に表現している。		○冷戦下の核開発競争と宇宙開発競争、および核兵器管理への方針転換について理解する。
	3 脱植民地化の進展と地域紛争		1	・南アジア・アフリカ・中東などでたくさんの植民地が独立を果たしたが、それらの地域では紛争が絶えなかったことについて、諸資料から読み取り、理解している。 ◎国際政治の変容について、概念的に理解している。	・第二次世界大戦後に独立を果たしたアジアやアフリカの国々では、なぜ地域紛争が頻発したのかについて、多面的・多角的に考察し、ワークシート等に表現している。 ◎地域紛争の背景や影響、冷戦が各国の政治に及ぼした影響などに着目して、地域紛争と冷戦の関係、第三世界の国々の経済政策の特徴、欧米やソヴィエト連邦の政策転換の要因などについて考察し、結果を表現している。	・国際政治の変容について振り返り、自らの学習を調整しようとしている。	○アジア・アフリカにおける脱植民地化の動きと、それらの地域で起こった地域紛争について理解する。
	4 計画経済と開発	1月	1	・冷戦下での自由主義国と社会主義国がとった経済政策のそれぞれの特徴と、開発途上国の経済政策とそれへの支援について、諸資料から読み取り、理解している。	・社会主義国、西側先進国、開発途上国のそれぞれの経済政策がどのような目的のものになされたのかについて、多面的・多角的に考察し、ワークシート等に表現している。	・世界経済の拡大と経済成長下の日本の社会について、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○自由主義国と社会主義国がとった経済政策と、新興国の経済政策と先進国の援助について理解する。
	5 冷戦下の日本とアジア		1	・55年体制がどのようにして始まり、どのような国内政治や外交を行ったのかについて、諸資料から読み取り、理解している。	・55年体制が始まってからの日本の国内政治や外交は、どのような国際的背景のもとに行われたものだったのかについて、多面的・多角的に考察し、ワークシート等に表現している。		○冷戦下の日本の国内政治とアジア外交について理解する。
	6 日本と欧米先進国の経済成長		1	・欧米先進国や日本の経済成長がどのように展開し、どのような社会の変容を生み出したのかについて、諸資料から読み取り、理解している。	・欧米先進国や日本の経済成長はどのような背景や要因のもとに達成され、どのような影響を社会に与えたのかについて、多面的・多角的に考察し、ワークシート等に表現している。		○欧米先進国と日本の経済成長とそれに伴う社会の変容について理解する。
	7 地域連携の拡大		1	・ヨーロッパやアジアで進んだ地域連携の動きの特徴や背景について、諸資料から読み取り、理解している。	・どのような背景のもとにヨーロッパやアジアで地域連携が拡大し、それらの連携のあり方にはどのような相違があるのかについて、多面的・多角的に考察し、ワークシート等に表現している。		○ヨーロッパやアジアにおける地域連携の動きについて理解する。
	8 ベトナム戦争と冷戦構造の変容		1	・ベトナム戦争がどのように始まり、世界にどのような影響を与えたのかについて、また、中ソの対立がどのような展開を見せたのかについて、諸資料から読み取り、理解している。 ◎世界経済の拡大と経済成長下の日本の社会について、概念的に理解している。	・なぜベトナム戦争がアジアの国々やアメリカ合衆国に大きな影響を与えたのか、また、なぜ中ソに対立が生じ、冷戦構造に影響を与えたのかについて、多面的・多角的に考察し、ワークシート等に表現している。 ◎冷戦が各国経済に及ぼした影響、地域連携の背景と影響、日本の高度経済成長の背景と影響などに着目して、冷戦下の世界経済や地域連携の特徴、経済成長による生活や社会の変容など	・世界経済の拡大と経済成長下の日本の社会について振り返り、自らの学習を調整しようとしている。	○ベトナム戦争と冷戦構造の変容について理解する。

単元番号	単元名	実施月	単元の 時数	評価規準			学習のねらい
				知識・技能 (評価の方法)	思考・判断・表現 (評価の方法)	主体的に学習に取り組む態度 (評価の方法)	
				定期テスト	定期テスト(論述問題など) レポート課題 討論・発表 学習の振り返り	レポート課題 討論・発表 学習の振り返り	
					について考察し、結果を表現している。		
第3章3節	「世界秩序の変容と日本」	2月	8	①石油危機、アジアの諸地域の経済発展、市場開放と経済の自由化、情報通信技術の発展などを基に、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめ、市場経済の変容と課題を理解している。 ②冷戦の終結、民主化の進展、地域統合の拡大と変容、地域紛争の拡散とそれへの対応などを基に、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめ、冷戦終結後の国際政治の変容と課題を理解している。	①アジアの諸地域の経済発展の背景、経済の自由化や技術革新の影響、資源・エネルギーと地球環境問題が世界経済に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、市場経済のグローバル化の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ②冷戦の変容と終結の背景、民主化や地域統合の背景と影響、地域紛争の拡散の背景と影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、冷戦終結後の国際政治の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現している。	・グローバル化の歴史に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追究しようとしている。	①アジア諸地域の経済発展の背景、経済の自由化や技術革新の影響、資源・エネルギーと地球環境問題が世界経済に及ぼした影響などに着目して、市場経済のグローバル化の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、市場経済の変容と課題を理解する。 ②冷戦の変容と終結の背景、民主化や地域統合の背景と影響、地域紛争の拡散の背景と影響などに着目して、冷戦終結後の国際政治の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、冷戦終結後の国際政治の変容と課題を理解する。
	1 問い直される近代	2月	1	・先進諸国でどのような価値観の変容が生じ、どのような動きが現れたのかについて、諸資料から読み取り、理解している。	・なぜ先進諸国で近代的な価値観を問い直す動きが現れ、それがどのような運動につながっていったのかについて、多面的・多角的に考察し、ワークシート等に表現している。	・市場経済の変容と課題について、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○先進諸国において、近代的な価値観を問い直す動きが現れ、価値観の変容が生じたことについて理解する。
	2 石油危機と経済の自由化		1	・主要国の通貨が変動相場制に移行したことや石油危機への先進国の対応、サミットの開催、日本の経済大国化などについて、諸資料から読み取り、理解している。	・なぜ先進諸国で経済の自由化が進んだのか、また、日本が経済大国となったのかについて、多面的・多角的に考察し、ワークシート等に表現している。		○ブレトン・ウッズ体制の崩壊や石油危機後の、日本や諸外国の経済の変容について理解する。
	3 アジアの経済発展と日本		1	・アジア NIES や ASEAN 諸国ではどのように経済が発展したのか、また、中国ではどのように経済が発展したのかについて、諸資料から読み取り、理解している。 ◎市場経済の変容と課題について、概念的に理解している。	・なぜ東アジア・東南アジアに急速に経済発展をする国・地域が現れたのかについて、多面的・多角的に考察し、ワークシート等に表現している。 ◎アジアの諸地域の経済発展の背景、経済の自由化や技術革新の影響、資源・エネルギーと地球環境問題が世界経済に及ぼした影響などに着目して、市場経済のグローバル化の特徴と日本の役割などについて考察し、結果を表現している。	・市場経済の変容と課題について振り返り、自らの学習を調整しようとしている。	○東アジア・東南アジア諸国・地域の経済発展について理解する。
	4 冷戦の終結と世界		1	・冷戦終結の過程と東アジアの分断状況の継続について、諸資料から読み取り、理解している。	・なぜ冷戦が終結に向かったのか、また、なぜ東アジアでは分断状況が継続したのかについて、多面的・多角的に考察し、ワークシート等に表現している。	・冷戦終結後の国際政治の変容と課題について、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○冷戦の終結と東アジアの分断状況について理解する。
	5 拡散する地域紛争		1	・冷戦終結後、どのような地域紛争が起こり、平和を維持するためにどのような動きが世界で見られたのかについて、諸資料から読み取り、理解している。	・なぜ冷戦終結後に世界各地で地域紛争が勃発したのか、また、平和を維持するための活動にはどのような問題点があるのかについて、多面的・多角的に考察し、ワークシート等に表現している。		○冷戦終結後、世界各地で起きた地域紛争や、平和を維持するために行われたさまざまな活動について理解する。
	6 民主化の進展		1	・世界各国で進んだ民主化のそれぞれの特徴や冷戦の終結との関係、日本の政権交代の諸相について、諸資料から読み取り、理解している。	・なぜ世界各国で民主化が進んだのか、また、なぜ日本で政権交代が起こったのかについて、多面的・多角的に考察し、ワークシート等に表現している。		○世界各国で進んだ民主化の動きと、日本の政権交代について理解する。
	7 グローバル化と地域統合		1	・冷戦終結後に進んだグローバル化の諸相と地域統合の進展について、諸資料から読み取り、理解している。	・冷戦終結後になぜグローバル化が進んだのか、また、なぜ地域統合が進んだのかについて、多面的・多角的に考察し、ワークシート等に表現している。		○冷戦終結後に進んだグローバル化と地域統合について理解する。
	8 岐路に立つ世界と日本		1	・グローバルや地域統合、民主主義がどのような問題点を抱え、解決のためにどのような取り組みをしているのかについて、諸資料から読み取り、理解している。 ◎冷戦終結後の国際政治の変容と課題について、概念的に理解している。	・グローバル化の進展によってなぜさまざまな問題点が噴出したのかについて、多面的・多角的に考察し、ワークシート等に表現している。 ◎冷戦の変容と終結の背景、民主化や地域統合の背景と影響、地域紛争の拡散の背景と影響などに着目して、冷戦終結後の国際政治の特徴と日本の役割などについて考察し、結果を表現している。	・冷戦終結後の国際政治の変容と課題について振り返り、自らの学習を調整しようとしている。	○グローバル化や地域統合、民主主義が抱えた問題点について理解する。
第3章4節	「現代的な諸課題の形成と展望」	3月	4	◎歴史的経緯を踏まえて、現代的な諸課題について理解し、説明している。	◎事象の背景や原因、結果や影響などに着目して、主題について、現代的な諸課題を展望するなどして、多面的・多角的に考察し、その結果を表現している。	◎「歴史総合」で学んだ全ての内容における自身の学習の経緯について、自身の関わりを踏まえて振り返るとともに、次の学びに向けての課題を見いだそうとしている。	○科目のまとめとして、現代的な諸課題に関する主題を設定し、事象の背景や原因、結果や影響などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現することを通して、歴史的経緯を踏まえて、持続可能な社会に向けて、現代的な諸課題の展望を探究する。

単元番号	単元名	実施月	単元 の 時数	評価規準			学習のねらい
				知識・技能 (評価の方法)	思考・判断・表現 (評価の方法)	主体的に学習に取り組む態度 (評価の方法)	
				定期テスト	定期テスト(論述問題など) レポート課題 討論・発表 学習の振り返り	レポート課題 討論・発表 学習の振り返り	
定期テスト	1学期中間 1学期期末 2学期中間 2学期期末 3学期期末	5月 7月 10月 12月 2月		・資料を適切かつ効果的に活用する技能や、概念的な理解に基づく知識を獲得できているか、問題を工夫して評価する。	・多面的・多角的に考察し、表現できているか、論述させるなど、問題を工夫して評価する。		